



ニュースリリース 平成 24年 5月 25日

「いばらき絆ファンド」によるS.P.エンジニアリング(株)への融資について



株式会社常陽銀行(代表取締役頭取 寺門 一義)と株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長 橋本 徹、以下「DBJ」という。)が共同で出資する「いばらき絆投資事業有限責任組合」(「いばらき絆ファンド」)は、本日、S.P.エンジニアリング株式会社に対し、融資を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、当ファンドにおける4件目の投融資案件となります。

当行とDBJは、引き続き、当ファンドによる被災企業への投融資等を通じ、被災地域の復興を支援してまいります。

記

【融資の内容】

ファンドの名称	「いばらき絆投資事業有限責任組合」(「いばらき絆ファンド」)
融資日	5月25日
資金使途	運転資金
融資先	S.P.エンジニアリング株式会社
所在地	茨城県日立市
代表者	泉 富栄
業種	製造業
企業の概要	当社は、圧延機等の製鉄関連機器、原子力発電所や研究機関向けの原子力関連機器、ECOエネルギー関連機器等の設計・製作を行う総合エンジニアリング会社で、顧客からその高い設計力・技術力を評価されており、研究機関・大学との交流を通して更なる技術力向上を図っています。
備考	本件は、震災により受注等に影響を受けた当社に対し安定的な長期資金を供与するものであり、当ファンドの取り組み趣旨に合致することから、融資を実施いたしました。

※ファンドの詳細については、別紙をご参照願います。

【ファンドの概要】

- (1) 名 称： いばらき絆投資事業有限責任組合
- (2) 規 模： 50億円（当初）
- (3) 設 立： 平成23年9月30日
- (4) 出資者： 無限責任組合員（GP）： (株)SFGパートナーズ
有限責任組合員（LP）： 常陽銀行、DBJ
- (5) 期 間： 投資期間3年、存続期間10年（ただし、必要があれば、投資期間で2年以内、存続期間で5年以内の延長を行うこともあります。）
- (6) その他： 地域事情に精通するとともに被災地域に広範なネットワークを有する当行と投融資一体型の金融サービスを提供するDBJとの連携のもと、東日本大震災の被災企業に対する復興資金の供与を通じ、被災地域の早期復興支援を図るため平成23年9月に設立。

【ファンドのスキーム図】

